「キャリア・パスポートおわり」の活用

１　学級活動　（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

　　　　　　　　　ア　現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

２　題材　　　「これまでの自分を振り返ろう」

３　事前指導　　キャリア・パスポートおわり，成長ノートの取組　等

４　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入  つかむ  (10分) | ●□年生の活動で「したこと」や「がんばったこと」を想起し，自分たちの成長について話し合う。  （自分が成長してたと思うことについて振り返る。）  ・行事ノートや成長ノート，写真等で，学級や自分のこれまでの成長を振り返ることができるようにする。  ・自分の「よさ」や「やってみたこと（挑戦したいこと・しようと思っていること）」を見つけ，感じ取り，共感し合う場づくりをすすめる。  ◆〇〇でこんなことをしたから成長したと思う。  (→具体的に)  ４月に作成したキャリア・パスポートはじめで考えた「なりたい自分」に対して「足りない部分」はどこかといった減点評価の振り返りではなく，児童自身がこれまでの様々な場面で成長したり，積み重ねたりしたことを加点評価の振り返りをおこない，実感・共感できるようにする。  ・たくさん成長した「自分（一人一人・あなた）だからこそ」，さらに成長して，すごい□年生になるために，「やってみたいこと」や「がんばりたいこと」について考えたくなる場づくりをすすめる。 | ●学校生活を学級や個人で振り返ることができるように，教室に写真やポスター等を掲示したり，個々に作成したポートフォリオ（行事ノート）等を用意したりする。  ●話合いを生かして，様々な経験により，一人一人が成長したことを実感させる。  ●互いの成長を喜び合える雰囲気を大切にする。「共感・共有」  ●キャリア・パスポートおわりの「残しておきたい」や「がんばってきたこと」に書き足しをしてもよい。  ●☆は「がんばってきたこと」の５段階評価や到達度を測るものではなく自己評価であるため，５つまで塗ってもよい。 |
| 展開  さぐる  (10分)  見つける  (15分) | ●□年生の姿をさぐる（考える）  ・理想（なってみたい）の□年生とは，どんな行動や考え方をしているかを考える。  ・どんな□年生になりたいかを考える。  →(目指す□年生像についてみんなでさぐる。)  ・〇〇している□年生はかっこいい  ・〇〇している□年生はすてき  ●「なりたい自分（□年生の姿）」について考え，そのために具体的に「やってみたいこと」や「がんばりたいこと」について考える。  ・自分が身に付けたい行動や考え方について考える。  ・できそうなことを選ぶのではなく，やってみたいことを具体的に考える。  ・つぶやき，問いかけ， | ●学級で共有したことや自分で考えたことを参考に，キャリア・パスポートはじめの「こんな自分になるぞ」の部分に書き足すようにする。  ●交流の中で自分のやりたいことを明確にすることや，友達の意見を参考にする。  ●自分にも取り入れたいことがあれば，キャリア・パスポートはじめの「そのためにすること」の部分に書き足すようにする。 |
| 終末  決める  (10分) | ●学級やグループ，自分で考えたことを参考にしながら，次の学年になるまでに，自分が「やってみたい」「がんばりたい」「挑戦したいこと」について決める。  　・決めたことをキャリア・パスポートはじめの「そのためにすることは」の部分に書き足す。 | ●自分が「やってみたい」「がんばりたい」「挑戦したいこと」１つに決める必要はない。  ●実践の期間は限定する。 |